

研究協力をお願い

文部科学省「平成 24 年度 大学における医療人養成推進等委託事業」 看護系大学院における教育の基準策定と評価に関する調査研究

余寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

本調査は、文部科学省「平成 24 年度大学における医療人養成推進等委託事業」として、これからの日本における看護系大学院博士前期課程（修士課程）において、修士（看護学）の学位を授与される修了生が修得すべき能力を明らかにすることを目的に行っております。それにより、グローバルスタンダードに合致した、看護系大学院博士前期課程（修士課程）教育のコアとなる本質（標準的なレベル）が明確になることを目指しております。平成 23 年度調査では「博士前期（修士）課程で修得すべき能力」として 10 の能力とその内容 77 項目を明らかに致しましたが、今年度は看護系大学協議会会員校による地区別グループ討議ならびに再検討した 10 の能力の質問紙調査を再度グループ討議参加者に行い、「博士前期（修士）課程で修得すべき能力」の精錬化を図りました。

つきましては、このような経緯で精錬した「博士前期（修士）課程で修得すべき能力」の 10 の能力とその内容に同意頂けるかどうかを日本看護系大学協議会の会員校の研究科長様、大学院設置の準備をしておられる学部長様、大学院研究科の教務担当の教員様等を対象にご回答頂きたく質問紙をお送り致しました。

質問紙への回答には 30 分～45 分程度を要します。どうぞ同封のボールペンをお使い頂きご回答くださいますようお願い申し上げます。ご回答いただきました質問紙は、返信用封筒にて **2 月 28 日（木）までにご返送ください**。本研究で得られました結果は、報告書としてまとめるほか、看護系大学協議会のホームページなどに広く公開する予定です。

ご多忙のところ恐縮ですが、本調査にご理解いただき、是非ご協力を賜りたくお願い申し上げます。 本研究に関するご質問・開示につきましては、下記連絡先にお問い合わせください。

■ 研究代表者：片田範子（兵庫県立大学 教授）

<問い合わせ先> 〒673-8588 兵庫県明石市北王子町 13-71 兵庫県立大学明石キャンパス

TEL：078-925-9400 e-mail：n_katada@cnas.u-hyogo.ac.jp

■ 共同研究者

野嶋佐由美（高知県立大学・教授）、正木治恵（千葉大学・教授）、雄西智恵美（徳島大学・教授）、菱沼典子（聖路加看護大学・教授）、太田喜久子（慶應義塾大学・教授）、横尾京子（広島大学・教授）、高見沢恵美子（大阪府立大学・教授）、工藤美子（兵庫県立大学・教授）、森本美智子（兵庫県立大学・教授）、田井雅子（高知県立大学・准教授）、森菊子（兵庫県立大学・准教授）、高見美保（兵庫県立大学・准教授）